



意識 枝幸砂金地実況調査概況



へるふね Perupnei



目次

枝幸砂金地実況調査概況

明治33年8月21日～9月21日 北海道毎日新聞

○枝幸砂金地について、西尾工学士、山口監督官補の調査結果は次のとおり。

▲枝幸郡現勢 枝幸郡は北見国の北端で、宗谷郡の東南に位し、山嶺を境に天塩国中川郡に接する。頓別、枝幸、歌登、礼文の4ヶ村があり、枝幸村はその中心である。河川の主なものは頓別川、幌別川、トプシュベツ川で、産金地の多くはこの三河川の支流である。

▲枝幸郡各村戸数（33年6月調査）

略

▲枝幸郡各村別人口（33年6月調査）

略

▲枝幸郡各村戸数人口

略

▲枝幸村気候

最高温度 36℃

最低温度 -23℃

積雪量 1m

降雪始期 12月中旬

融雪期 4月下旬

▲官庁 枝幸郡戸長役場、森林看守駐在所、宗谷警察署枝幸分署、稚内裁判所枝幸出張所

▲寺院 真宗大谷派明円寺、曹洞宗長林寺、外に寺号出願中のもの2

▲小学校教員生徒数 尋常小学校1、教員4、学歴児童831人、就学児童265人

▲医師 開業者2人、試験及第の者3人

▲開拓地既成地 155町2反歩

▲営業売上総額 277,884円（33年届出高）

▲所得税 206円37銭6厘 上納人員15人(32年度)

▲明治33年1月より6月迄死亡数 死亡者38人、原因脚気11人、毛細気管支炎10人、脳膜炎6人、栄養不全6人、その他5人

▲材木並びに産物価格 燃料1棚25銭、建築用尺ヅ15銭、ナラ、ガンビ、ハンノキ、イタヤ21銭、セン、シコロ、カツラ22銭、トドマツ、エゾマツ18銭、建築用尺ヅ17銭5厘、クマザサ3尺ヅ5厘、フキ3尺ヅ5厘

▲枝幸市街における労金 大工80銭、左官80銭、畳職人1円、屋根職人70銭、出面取60銭

▲砂金地における犯罪者 密採取39人、官有地密採者56人、官林討伐9人、賭博12人、合計116人

▲32年中砂金入り小包

送付先	個数	量目
東京	178	43貫942匁
横浜	44	10貫486匁
大阪	35	9貫377匁
小樽	32	6貫430匁
札幌	19	3貫175匁
山形	7	1貫83匁
その他	21	10貫430匁

▲枝幸市街地における諸物価(33年6月調)

品目	数量	物価	品目	数量	物価
米	1石	12円50銭	茶	1斤	50銭
麦	1石	8円50銭	煙草	百匁	50銭
大豆	1石	9円	石油	1升	22銭
小豆	1石	11円	蠟燭	百匁	16銭
塩	1石	3円70銭	鯨搾粕	1石	11銭
味噌上	1目	40銭	鯨	1石	16銭
味噌下	1目	26銭	身欠鯨	1目	35銭
醤油上	1升	28銭	日本酒	1升	54銭
醤油下	1升	20銭	砂糖	1斤	17銭

▲漁業と砂金採取業の関係

枝幸における漁業は年々衰退し、暮らしが困難となる時に砂金が発見され、漁業生活は一転して砂金生活となった。

仮に、漁業が復活した場合、漁業と砂金業が両立するかについて、元来この地の漁は鯿及び鮭であり、漁期は、鯿は4～6月、鮭は9～11月となっている。

砂金業は天候及び停止命令のため、漁期に関係のない6～8月に従事するので両業は重複しない。このため砂金業が盛況だとしても、漁業に影響がないだけでなく、漁夫は漁期を終わると、櫓をカッチャに持ち替え、多くの金粒金塊を得ることができる。また、ある漁業者によれば、砂金業で魚の販路が増え、かえって網数が多くなったとも言う。

鮭鱒保護のため、9月1日から4月30日までは砂金業停止により河川汚濁による被害はなく、砂金業は漁業に何ら影響を与えない。

▲農業と砂金採取業の関係

農業は砂金業により大きな影響がある。砂金開始以来、農夫は一攫千金を夢見て鋤を捨て、未墾地を開かないだけでなく、開墾地も荒れ果て雑草が蔓延している。

上幌別原野松垣農場は、明治30年7月、54万坪の貸付を得て開墾に着手した。翌31年7月には幌別川で砂金が発見され、枝幸住民はこぞって砂金を採った。32年5月、砂金の産出は益々多くなり、パーチャン砂金地が発見されると、農場はパーチャンへの通路にあるため、日々数百人が通行し、農作物が荒らされる様になった。また、農場から砂金地まで荷物を運搬すると、白米2斗につき4円を得ることができ、小作人は砂金採取や物品運送夫に転じてしまった。

このように開拓に大きく影響を及ぼしたため、これまで開墾した10万坪が原野に帰す事を憂慮し、土地の貸付を受けた者が開拓の実績を上げることができず、貸付地を返還したものもあるという。同農場の32年収穫高は、小麦20石、裸麦40石、油菜12石、大麦15石、馬鈴薯2千俵である。

▲枝幸郡砂金採取許可地稼業及び未着手数延長及び面積（5月末現在）

許可地数	稼業中のもの	未着手のもの
178	44	134
延長	延長	延長
198里29町	56里8町	142里20町
面積	面積	面積
2,717,521	630,870 坪	2,086,661 坪

▲稼業中に係る採取地川筋別（5月末現在）

頓別川筋		
支流	採取地数	延長
ウソタンナイ	17	18里22町
ピラカナイ	1	4里8町
パーチャン	13	18里18町
計	31	41里12町

幌別川筋

支流大字	採取地数	延長	
パンケナイ	7	7里17町	
ケマモナイ	3	面積 1,751,587 坪	
オムルシュベツ	2	3里1町	
計	12	10里18町	1,751,587 坪

問巻川筋

本流	1	4里13町
----	---	-------

▲産金地の気候と操業の期間

ウソタンナイの気候は枝幸市街と大差なく、盛夏においては27℃、冬期は-14℃になる。降雪は10月中旬、融雪は5月中旬で、積雪は1.8mである。

天候について、広谷採金事務所調査の結果、晴197日、曇57日、雪54日、雨57日であった。

ペーチャンは最高26℃、最低-20℃、降雪融雪はウソタンナイと同じ、積雪は2mである。パンケナイは最高34℃、最低-23℃である。

年中の気候は、4～6、10の4ヵ月は晴天が多く、7～9の3ヵ月は雨天曇天が多い。積雪は1.8m、降雪は10月上旬、融雪は5月下旬である。

魚類保護のため、一定の区域では毎年9月1日から翌4月30日迄砂金業を停止する。区域外でも12月から4月までは操業する者が少ないが、越年して採取する者もいる。

▲枝幸市街より産金地に至る道路

枝幸からウソタンナイに至る道路は二つある。一つは枝幸市街から海岸を経てウバトマナイに至り、そこから山中に入り、広谷採金事務所付近に達するもので、行程2里余り、馬を使用することもできる。

もう一つは海岸を通過してオチキリに出、左折して山中に入るもので、前者より30町程近いが、道路険悪で馬を使用することはできない。

枝幸からペーチャンに至るには、幌別原野を過ぎてパンケナイに至り、そこから1里程遡り、ポンパンケナイとオムルシュベツとの間にある山を迂回してペーチャンに至る。本年5月、小路を開いたので馬の通行ができ、行程は7里弱である。

▲稼業方法採取方法

稼業方法について、直営で採取する者はウソタンナイ秋山源蔵採取地のみで、他は一定の入場料を徴収して鑑札を交付し、許可区域内で自由に採取させる。

採取方法は、3人以上で分業し、流し堀り、岡堀りによる。流し堀りは、川を堰止め適当な水勢にし、ネコと称する沈澱盤を据え、カッチャにより含金土砂を掬い、砂金をネコに沈殿させるのである。

岡堀りは、堤防地における含金土砂を掘り、これをバケツに入れネコのある場所に運

び、洗浄して砂金を沈殿させる方法である。

普通の採取方法で使用する器具は、カッチャ大小2個二円、鶴嘴1円50銭、砂利鎌40～50銭、バケツ30～40銭、ネコ1円内外、シャベル1円内外、淘汰板1円2～30銭、エビザル等である。

○稼業地現況

▲ウソタンナイ（広谷順吉外2名所有）延長4里30町

事務所はウソタンナイ第二支流エトルシュオマップ合点にある。建物は3棟で総坪数78坪、建築費は1,500円。事務員24名、1ヶ月経費500円、給料は25円2人、20円2人、18円2人、13円1人、12円6人、11円1人、7.5円6人、7円3人、6円1人、事務員の食料は全て事務所で負担する。

採取の始期、入場者数 3月開始6月7日まで入場者は男729人、女18人。

入場料収入 3月155,400円、4月412,520円、5月1,169,400円、6月310,600円 計3,047,920円。

入場料は1人1カ月砂金3匁（現金12円）、これを2期に分けて徴収し、婦人及び15才以下は7分とする。そして、3月20日から5月15日までは1カ月2匁、5月16日から3匁とし、取締りのため6人の請願巡査を置く。

封鎖の場所 第1支流合点から下流事務所までは、採取人を入れず他日機械を設備して着手する予定。

付属売店物価、売上高 採取夫の需要を満たすため、売店を設け米味噌酒類その他の雑品を販売している。2月27日開店、6月10日まで売上金1,315円で、最も売れるのは米味噌酒草履である。物価は枝幸市街に比べ2割程高い。

採取高 1人1日平均4分弱。事務所付近において、かつて最上川で砂取に従事した11人が流し堀りをし、1日平均145匁を採取するという。

▲ウソタンナイ（輪島仙太郎外3名所有）延長13里15町

本採取地は10数区を開放して採取させている。広谷組合事務所から2町余の所にある。20坪程の事務所で建設費150円、現在600円の予算で30坪の事務所を建設中。事務員20名で1ヶ月経費400円。

作業の始期、入場者数 5月1日開始、5月中325人（女7人）6月上半期490人（女29人）

入場料収入 5月716円、6月上半期1,263円、入場料1カ月1匁6分、これを二期に分け、婦人、未成年者は適宜定める。請願巡査4名あり。

本採取地中最も人気のある場所は、フーレピラウンナイ（赤井川）、オチキリ、馬道第1支流二股付近で、採取高は1人1日平均3分余。フーレピラウンナイで婦人が21匁の金塊を採取した。

▲ピラカナイ（輪島仙太郎外3名所有）延長4里8町

本採取地はウソタンナイ事務所で管轄し、入場料1カ月1匁。輪島組合はこの外ペーチャンに5区あり、枝幸事務所本部以下50人で事務に当る。給料は50円1人、30円2人、25円7人、20円30人、16円8人、10円2人。

▲ウソタンナイ（秋山源蔵所有）延長12町30間

本採取地は7千円で広谷順吉外2名より譲り受けた。横浜市元居留地40番セール商会在実権を有する。枝幸砂金地において、直営で稼業するのはこのみで、管理人はカリフォルニアのピータージョス、技術手としてユージンスコイヤがいる。この外通訳2名、人夫30名を使役する。

小官巡見の際、機械の設備中で稼業成績は不明である。器械の設備を終わり稼業に当たっては人夫150人を使役するが、その人夫は仙台地方において雇用契約済で、1日50銭の給料で食料は雇い主が支給する。

事務所は下流で、人夫小屋は上下流の2か所、事務所及び下流における人夫小屋は目下建築中。坪数は上流小屋35坪、事務所20坪、下流小屋57坪。建築工事は2、1000円で広谷季太郎が請負契約をした。

従来許可人は、目先の利益に走り、国家富源を開発することを年頭に置かず、採取方法に関する学術的研究なく、ただ漫然と稼業している。今日において比較的大設備をなし、自ら事業を経営し、しかもこの事業が外国によって先駆されるのを見て、皆多少心を動かした様である。小官はこの点について喜ぶ。

▲ペーチャン（輪島仙太郎外3名所有）5区域延長13里23町

各区域を合併開放して採取させている。事務所は小川の合点にあり、20坪の仮小屋で建設費150円。ウソタンナイと同じく600円の予算で30坪の事務所を建築中。職員25人1カ月経費500円。

作業の始期、入場者数 5月1日開始、5月中181人、内女5人、6月上旬282人、内女5人。

入場料収入 5月395円、6月上半期941円、入場料は1人1カ月砂金1匁6分、その他はウソタンナイに同じ。

請願巡査4名、付属売店5月1日開業、6月20日売上高270円、物価はウソタンナイに比べ交通運搬の便が悪く1割程高い。

本年中最も多くの入場者がある箇所 ペーチャン本流水源地付近、小川、本流事務所付近。

採取高 1人1日平均3分余。

▲ペーチャン（長内幾三郎所有）169万9千483坪

事務所及び事務員 輪島組合事務所から2町余、建坪28坪で建設費448円。事務員6名小使1人で、給料は20円1人、16円2人、14円3人、6円1人。

作業の始期、入場者数 3月1日開始。3月117人、4月35人、5月190人、6月上半期116人内女2人。

入場料収入 3月砂金50匁、現金2円64銭、4月2匁6分、2円64銭、5月49匁、49円6銭、6月上半期26匁1分、81円59銭。入場料は1人1カ月1匁で、これを二期に分け日割りを許す。

付属売店 4月1日開業、6月15日までの売上金高120円。

採取高1人1日平均 3ヶ月程の記録では、岡堀で好成績を上げたのは事務所付近の堤防敷地。事務員によれば、4月に、7人で200匁を得、11人で300匁を得たという。

▲パーチャン（鹿野惣次郎所有）121万5千838坪

事務所並びに経費 輪島組合事務所から下流10町余、パーチャン支流ニセイケショマップ合点にある。建坪24坪建築費350円。事務員4人小使い1人、1カ月経費100円余。事務員給料は20円1人、12円1人、15円2人。

作業の始期、入場者数 5月1日開始、5月20人、6月40人。

入場料収入 5月80円、6月160円、入場料1人1カ月砂金1匁、二期に分け日割りを許す。婦人未成年者は半額。

付属売店 5月1日開業6月20日まで売上高380円。

採取高1人1日平均 3分弱

▲パーチャン（河井愛次郎所有）延長4里31町

本採取地は、事務所建物含め5千円で広谷順吉外1名から譲り受けた。秋山源蔵名義と同じく、横浜市元居留地40番セール商会が実権を有する。

事務所及び事務員 鹿野事務所から下流2里余、パーチャン支流ニセイパオマップ合点にある。建坪15坪。事務員7人小使い1人、1カ月経費300円。給料額は30円1人、25円1人、20円1人、15円4人、6円1人。

作業の始期、入場者数 5月13日開始、6月18日現在採取夫33人、内訳は岩手3人、横浜2人、長崎1人、宮城5人、本道17人、秋田1人、青森2人、新潟1人、石川1人

入場料収入 6月36円、入場料は1人1カ月1匁、これを二期に分け日割りを許す。婦人及び15才以下13才以上は3割減、13才以下は免除する。5人以上の組合で一時に申込をする場合相当割引する。

付属売店 事務所開始と同時に開始、6月18日まで売上高10円内外。この地は枝幸市街から遠く、交通運搬すこぶる不便。小川に比べなお1割強の高値。

採取高 1人1日平均3分弱

▲パンケナイ（秋山源蔵所有）延長6里34町

ウソタンナイと同じく事実上横浜セール商会の所有、建物を合わせ9千円で譲り受けた。一般の採取地と同じく、入場料徴収の方法をとる。明年直営操業する計画という。

事務所及び経費 上流と下流の2か所あり。上流は第14番支流合点で、下流はパンケナイ合点にある。2棟合わせて32坪、費用は500円。事務員4人小使い4人、1カ月経費250円。給料は、30円1人、22円1人、15円1人、13円1人、10円4人。

作業の始期、入場者数 6月1日開始、23日まで入場者175人（内女4人）

入場料収入 6月1日から22日まで収入350円、入場料は1人1カ月1匁、これを二期に分け日割りを許す。（請願巡查2名）

封鎖の場所 本流1の滝から上流は解放せず。

採取高 1人1日平均3分強

▲パンケナイ支流（伊勢屋清吉所有）延長18町45間

事務所並びに経費 71坪の小屋で建築費35円。1ヶ月経費50円。事務員2人俸給各10円。

開始の始期、入場者数 6月18日開始30人

入場料収入 収入108円、入場料1人1カ月9分、三期に分け日割りを許す。

採取高 1人1日平均2分強

▲パンケナイ（梅津三之助外9名、帝国砂金株式会社）面積47万3,600坪

事務所並びに経費 秋山事務所から下流1町余にあり、木皮熊笹の仮小屋。後日木材払い下げを待って新築の予定。1ヶ月経費150円、事務員4人各15円、10円1人

作業の始期、入場者数 6月15日開始、15日より20日まで209人

入場料収入 収入195円、入場料は1人1カ月8分、二期に分け日割りを許す。

採取高 1人1日平均3分強

▲パンケナイ（広谷幸太郎外2名所有）面積57万2,466坪

事務所は秋山源蔵上流事務所の隣、目下10数人あるのみ、採取量は1カ月2匁9分。

▲パンケナイ（長内幾三郎外2名所有）面積56万2,781坪

6月26日開始、入場者70人、1カ月入場料1匁5分、これを二期に分け日割りを許す。創立間もなく、事務所なく現地にテントを張って事務を取る。

▲ケマモナイ（杉本忠次郎外2名所有）面積175万5,187坪

事務所並びに経費 事務所と呼べる建物なく仮小屋のみ、後日200円で20坪の事務所予定。1ヶ月経費85円、事務員5名、各給与10円、5円1人。

作業の始期、入場者数 6月4日開始、6月中入場者295人

収入240円、入場料は1日10銭を徴収。

採取高 1人1日平均2分強

▲問卷川（伊勢谷清吉所有）4里13町30間

事務所並びに経費 問卷川を遡った二股にあり、7坪の仮小屋。小屋掛料37円、事務員2名1カ月経費70円。

作業の始期、入場者数 6月10日開始、30日まで90名

入場料収入 収入252円、入場料1人1カ月9分、三期に分け日割りを許す。

採取高 1人1日平均3分5厘

▲一般採取夫並びに現状の模様 採取夫は経験者が多く、北見海岸の漁夫で砂金に従事したものが3割強。今は漁業が終わり、益々増加する傾向にある。

風説を信じ、一攫千金を夢見て京都方面から渡航入山した者は、書生、官吏、商人風が多い。採取夫にアイヌはいないが、パーチャン石川貞二氏の入夫には15人程いる。

▲学校と教員 小学校は高等尋常公立7、私立1、尋常公立38、私立1、分校7、分教場簡易教育所15、水産補習1、真宗学館1、合計71校。

教師男47、女1、準教師男20、嘱託教員男38、女21、合計127名。

▲各産金地採取夫6月現在の状況

ウソタンナイ570人、パーチャン500人、パンケナイ320人、トイマキ100人、ケモマナイ200人、計1,690人

密採者は北見、天塩在住でこの業に経験があり、産金地の地理に詳しくその出没極めて巧妙で、取締りにあたる者を苦しめる。総数400人は下らない。

▲朝倉アツム及び山田殖民合資会社と枝幸渡航者

朝倉アツムは、北見砂金採取社（東京）の名を使い、採取者を紹介渡航させたもので、その人数は1千人近い。この募集に応じた者は手数料として2円を出し、郵船会社1割5分引き、小樽枝幸間3割5分引きの渡航割引券を得、4円50銭を出して採取社より採取器を購入した者である。

しかし、これらの者の渡航は4月で、枝幸市街は勿論山中は数尺の積雪があるため、その寒さと労働の厳しさに驚いた。また、採取社が入場に便宜を図るとの約束は守られず、携えてきた採取器は全く実用に適さず、ただ為すことなく漫然と日々を過ごすのみであった。一方、一攫千金のため用意した蓄えは底をつき、進退極まって、衣類を売って旅費を工面し帰国した者が8～9割と言う。残留者は採金事務所の事務員や小使いとなり、入山採取に従事する者もある。

山田殖民合資会社（広島）は、採取夫として渡航させたもの5月中170人、これもまた朝倉の類で、今なお残留する者2～30人に上る。

▲住居 木皮、草葉で覆った小屋、テントで雨露を凌ぎ、幼児を連れて一家で生活する

者もある。

▲就業及び休憩時間 午前5時から午後6時迄、昼1時間は休息できる。暴風雨など全く労働できない場合の外休止することはない。

▲山中における食費及び副食物の主なもの 1人1ヶ月5円～7円、副食物としては味噌、干魚、フキ、乾物等である。

▲夜間の経過 昼間の労働で疲れるため、夜間は活動なく、床に付くのを楽しむのみ。たまに賭博をする者があるが、至って少ない。採取人中の女は配偶者と共に採取に従事し、姦淫に関する行為やこれに原因する喧嘩等は聞かない。

▲争闘喧嘩 争闘は見るべきものはない。ただ採取者の現場占領に関して争いが起きることがある。これらは事務所看守の取締りによって平和に収まる。

▲山中の風土病 風土病としてはマラリヤ及び脚気がある。山中では売薬による治療のみで、治らなければ枝幸に下るしかない。32年パーチャンにおいて5人の死亡者があったと聞く。

▲熊と採取業 元々ヒグマの跋渉する地のため、たまたま出没して採取夫を恐れさせるが、被害を受けたことは無い。

▲山中の飲料水 産金地の飲料は全て渓流水を用いる、ウソタンナイ広谷組合事務所では2個の井戸を設けその水質は良好だという。

▲付属売店における営業 営業と言う程ではないが、僅かの物品を背負って産金地を行商する者がいる。パーチャン小川に、風呂屋2軒床屋1軒あるが、いずれも仮小屋によるもの。入浴料1人3銭、散髪料20銭。風呂屋は毎日30人位の入浴者があり、床屋は3～4人で、どちらも格段の利益はないという。

採取に名を借りて小屋掛し、淫を売る者があると聞くが、小官巡視の際は引き上げて、同所には豆腐屋、蕎麦屋の開店があった。

▲予防命令事項実行に関する状況

- 一 漁族保護のため、ある流域では毎年9月1日から4月20日まで採取禁止となる。
- 二 土砂復旧
- 三 河岸採取禁止
- 四 堤防欠損禁止
- 五 樹木加害禁止

本項は公益上の必要から列記した事項であるが、少なくとも2以上の命令を受けた場合、その採取を制限する。

▲ある流域において、毎年9月1日から4月30日まで採取停止となる。今盛んに採取している場所は、この停止命令が無い場所である。このため、その流域内に多数入込むのは当然で、この命令は、その実行を期すべきと信じる。

▲土砂復旧、河岸採取禁止、堤防欠損禁止、樹木加害禁止 定期の入場料を納めた者が随意随所で採取するので、この命令が守られないのを見る。乱掘して荒廃した採取地では、兼ねて本官より復旧命令をするが、採取業者はいずれも無視して採取夫のなすままにする。

許可人に対してこの要旨を厳達したが、河畔を掘採して堤防に及ぼし、樹根を掘って金塊金粒の続出するのを見ては、命令に背くのもやむを得ない。事務所巡回の際に現場を離れば、たちまち集合して、河岸となく堤防となく樹根となく掘採乱取し、到底その実行がかなわないものである。

▲採取業に対する村税 村費として許可人に対して収入の100分の5、採取夫に対しては1人1円が徴収される。山中各地を跋涉して随時小屋掛けする採取夫に対しては、その徴収は困難で、実行できないのは当然である。本年は僅かに80円を徴収したのみという。

▲警部巡查及び派出所位置 枝幸、ウソタンナイ、ペーチャンの三か所で各1名の警部及び、枝幸5名、ウソタンナイ7名、ペーチャン5名の巡查を配置し、請願巡查はウソタンナイ6名、パンケナイ5名、(広谷季太郎外2名の分)パンケナイ2名(秋山源蔵の分)ペーチャン8名(輪島仙太郎の分)である。

▲32年中砂金採取高調 ウソタンナイ68貫、パンケナイ35貫、オムロシュベツ1貫、ペーチャン3貫、オチキリ3貫、トイマキ3貫、ペーチャン小川60貫、モベイチャ

ン1貫、ピラカナイ2貫、シュブンナイ2貫、名称不明2貫、合計180貫である。

▲32年中採取者人数 従来枝幸に居住する者8百人、他地方のもの5,200人、合計6,000人。

▲32年中採取人鉱区主と所得割合 採取人所得高172貫500匁、鉱区主所得高7貫500匁、合計180貫。

▲32年中砂金集散高 現金買入141貫、物品と交換18貫、採取人携帯20貫、枝幸で指輪又は装飾品に加工したもの1貫、計180貫。

▲現金売買高内訳 枝幸市街で売買156貫、採取地で売買6貫、物品交換は枝幸で15貫、鉱区地で3貫。

▲枝幸から東京まで砂金送付費用 1貫500匁に対し、小包65銭、保険料1円56銭、配達証明3銭、荷造費10銭、計2円34銭。

▲32年中砂金買収人調 鉱区主として砂金の買い入れをしたもの8人、その方法は現金若しくは物品交換。

売払い地は東京、大阪、小樽、函館、札幌、金沢等で多くは東京である。また枝幸において砂金買い入れ所の看板を掲げた者は27名、買い入れ所の主なものは自己資本又は小樽銀行の為替券。

外来買入商は8名で東京の者が多い。多く買い入れたのは天賞堂、金子善兵衛、馬淵鉄一郎で、買入高が大きいのは10貫、少ないのは2貫位、総高35貫である。また砂金採取地に露店を開いた者は15軒で行商人は50人位。

意識 枝幸砂金地実況調査概況

著 へるふね

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
